

一般社団法人宗像医師会

前向き子育てプログラム「トリプルP」による子育て支援事業



Triple P ファシリテーター養成講座実施報告書

〈はじめに〉

一般社団法人宗像医師会は、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的として、明治13年（法人成立は昭和22年12月）に設立した宗像市及び福津市において就業又は住居を有する医師の職能的学術団体です。よって、地域医療・福祉の向上に寄与するために行政（宗像市・福津市・福岡県）と連携して様々な地域医療活動を行っています。保育園・幼稚園の園医等学校保健事業や乳幼児健診・予防接種等母子保健事業を地域医療活動の一つとして行っていますが、主な活動は、子育てセミナー・講演会の開催、出産前小児保健指導（ペリネイタルビジット）等があります。

今般、当会では、学校保健事業及び母子保健事業の一環として、世界で最も研究結果が蓄積され効果に信頼性がある子育てプログラム「トリプルP」を用いた子育て支援事業を行うことといたしました。

具体的には、宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生方に子育てプログラム「トリプルP」ファシリテーター（認定指導者）となっていただき、最終的には各園でファシリテーターによる保護者向け子育て講座を開催出来るような状況を整え、家庭と園の子育て環境の向上に寄与していく、というものです。

残念ながら、事業初年度である2020年度はコロナ禍により、ファシリテーター養成講座の開催のみしか行うことが出来ませんでした。ファシリテーター資格取得後には、所属する園で保護者を交えたグループワーク等の開催を予定していたのですが、実施出来ませんでした。

しかしながら、コロナ禍により思うように研修会等が開催出来ない中、Zoomシステムによるオンライン講座を9名の方に受講いただき、全員が認定試験に合格され、ファシリテーター（認定指導者）となっていただきましたことを、以下のとおり報告いたします。

1. トリプル P (Positive Parenting Program 前向き子育てプログラム)

子どもの発達や行動について、日常の家庭生活で使える具体的な技術が、前向きな子育ての実践に役立ち、親の自信につながります。豪・米・英・独など世界25ヶ国で使用されており、2006年より日本でも展開が始まっています。

2. トリプルPファシリテーター養成講座

12歳までのお子さんをお持ちの保護者を対象としたグループワークを実施するファシリテーター（認定指導者）養成講座。3日間でトリプルPの基本原則から実践方法、グループワークの運営を学んでいただきました。

講座名：グループ Triple P ファシリテーター養成講座

主催：NPO法人 Triple P Japan

開催日程：2020年9月25日（金）～27日（日）

講座形態：Zoomシステムによるオンライン講座

トリプルPインターナショナル本部（オーストラリア）から送られるリンクにアクセスして参加する。

講師（トレーナー）：臨床心理士 大河内 美和氏（オーストラリアから講義）

受講者：19名（宗像地区からの参加者は9名）

3. トリプルPファシリテーター認定試験

宗像地区からの受験者9名、全て合格しました。

内容：Triple Pに関する質問（30問）の採点

技能チェック3つのロールプレイ（必修2、選択1）

開催日時：2021年1月9日（土）～10日（日）の内、約4時間

試験形態：Zoomシステムによるオンライン試験

講師（トレーナー）：臨床心理士 大河内 美和氏（オーストラリアから試験）

受験者：19名（宗像地区からの受験者は9名）

4. 受講者アンケート

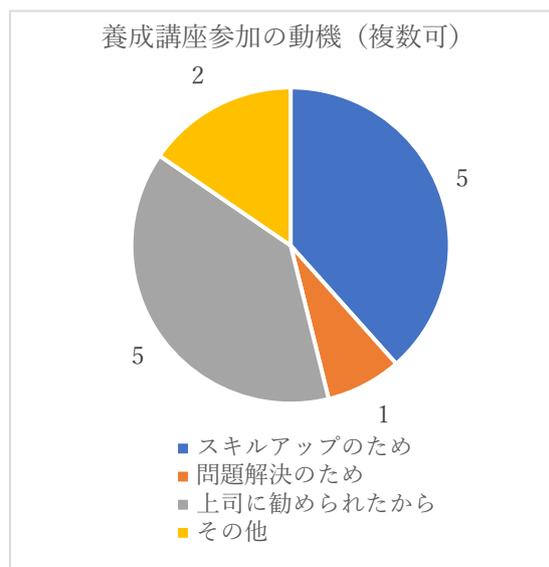
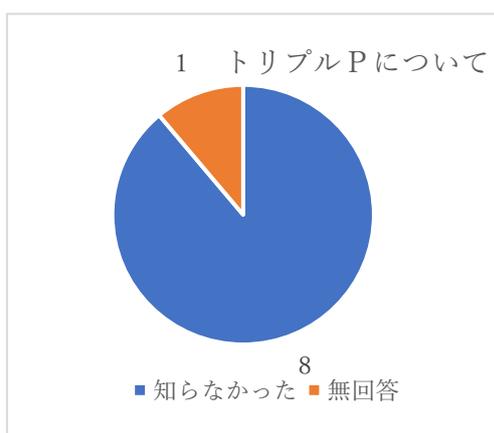
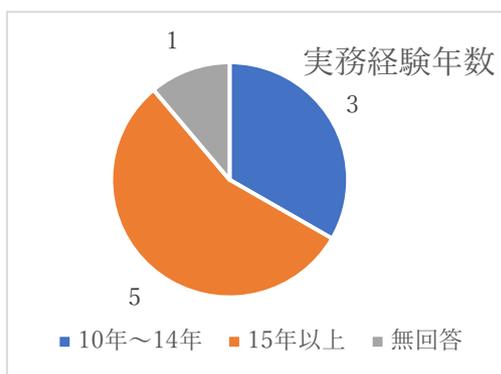
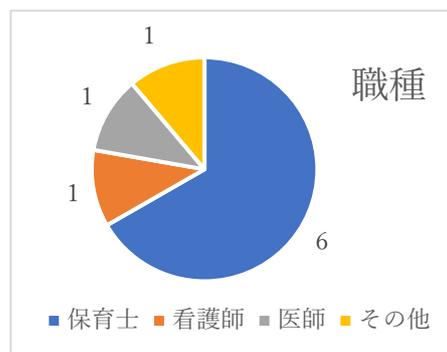
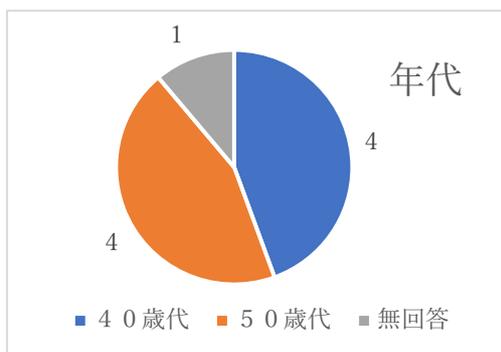
認定試験後に、受講者にアンケートを実施しました。

【感想・意見】

- ・またトリプルPについての講習会があれば参加したいと思います。自分自身がしっかり学び、職場で活用できるようにしたいです。
- ・初めてのオンラインでの講義でしたが、参加者の顔を見ながら、大河内先生のわかりやすいお話が聞けてとても楽しく講座を受講することができました。ありがとうございました。
- ・参加させていただきありがとうございました。力不足かと思いますが、出来ることがありましたら、ご協力させてください。
- ・大変貴重な勉強をさせていただきました。今後少しでも子育てに悩んだり、子どもの対応が難しいと思っている保護者に役に立つことがあればと思います。
- ・思っていた以上に保護者にわかりやすい内容だと感じました。トリプル

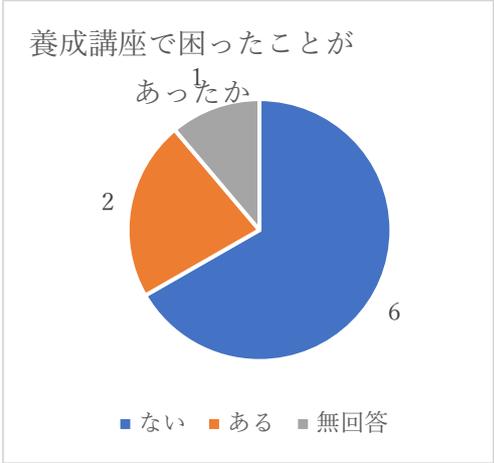
Pの内容は、子育てが仕事である保育士、幼稚園教諭が知っておいた方が
 良い内容だと思うので、出来るだけ多くの保育士、幼稚園教諭が参加
 できる形での研修があればと感じます。参加者からの報告だけでは伝わ
 らない事も多いので、出来るだけ多くの方が直接話を聞ける場があれば
 と感じております。

【アンケート結果】



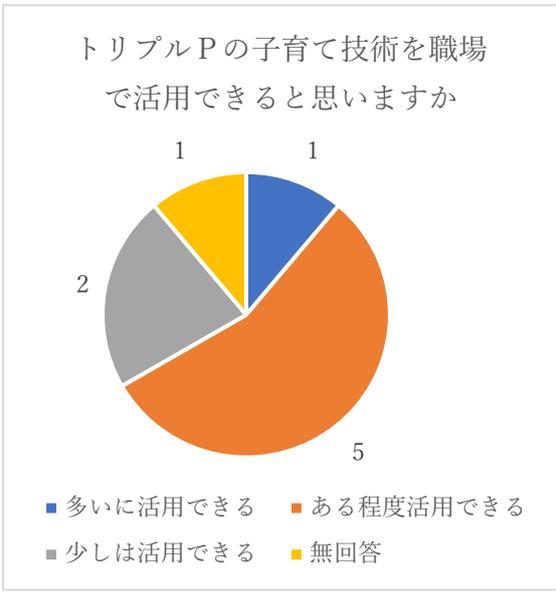
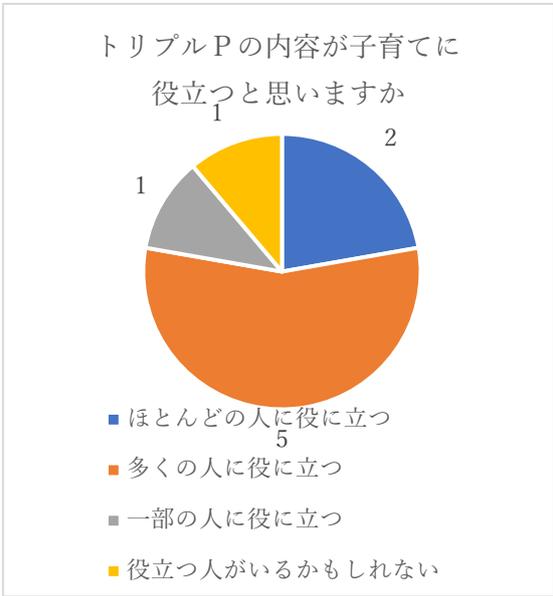
養成講座参加の動機その他の内容

子育てのポイントを知らずに困っている保護者が多いと感じており支援できたらと思って参加させていただきました。



あると答えた方（2名）の内容：

- ・パソコンでの Zoom は初めてでとまどった。
- ・オンライン講座でネットの状態が乱れがちだったので聞き取りにくかったです



〈振り返り〉

宗像市・福津市の幼稚園、保育園等におけるトリプルPファシリテーター資格保有者30名という事業目標をたてていましたが、コロナ禍のため養成講座が対面からZOOMによるオンライン形態に変更となり、かつ開催時期が運動会と重なる園が多く、受講者が9名と少なくなりました。初めてのZOOM講義に不安な参加者もいましたが、全員予定通りファシリテーターの資格を取得しました。

また、コロナ禍のためトリプルPセミナーによる子育てプログラムの啓発活動や保護者を募集したグループワークの開催が出来ず、保護者へトリプルPの内容をお届けできなかったことが残念です。

〈2021年度の計画〉

アンケートにあるようにトリプルPという子育てプログラムの存在、そして子育てに役立つということを多くの方が認識していない状況です。幼稚園、保育園関係者や保護者を対象としたトリプルPセミナーを開催し、園における子育て支援としてのトリプルP啓発活動を行う予定です。

次回のファシリテーター養成講座には、できるだけ多くの園が参加できるように広報したいと考えます。宗像市・福津市にある6割の園にファシリテーター資格保有者の在籍を実現したいという当初の目標に近づけるよう努力します。現状ではおそらくオンライン講座になるのではないかと考えられます。

さらに、園のファシリテーターと共に保護者対象のグループワークを開催し、子育てにおけるトリプルPの活用を期待しています。園の先生や保護者への質問紙調査によりこれらの効果を評価する予定です。

一般社団法人宗像医師会

前向き子育てプログラム「トリプルP」による子育て支援事業



この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。